

# ◎ 奈良・人と自然の会

〈わたしたちは大和の自然を愛します〉



## 奈良の万葉歌碑めぐり ⑤

有本 倍美

大口の真神の原に降る雪はいたくな降りそ家もあらなくに

舎人娘子（巻8—1636）

飛鳥寺(安居院)を南へすぐ、2000年(平成12年)1月に発見された亀形石遺跡がある。この辺り一帯は飛鳥池遺蹟で現在は県立万葉文化館が建造され、建設時に大量の富本銭が出土し有名になったところである。相対して茅葺の民家があり、それが明日香村立明日香民族資料館で玄関の右側にあるのがこの歌碑である。大意は、真神の原に降る雪よ、そうひどく降らないでくれ。我が家はまだ遠いのだから。「大口」は「真神」にかかる枕詞でいづれも狼のことである。1300年以上の昔、日本の都の中心である真神の原には狼がうろうろしていたという。1905年(明治38年)1月23日、吉野の鷲家口でアメリカ人アアンダーソンがニホンオオカミの死体を8円50銭で購入したのが最後である。

太古の奈良盆地がまだ湖沼であったころ、葛城山に蜘蛛族が住んでいた。身体が小さくて手足が異常に長く、穴を掘って居とし、木の実や獣を常食としていた、いわば先住民族であり、東征した大和朝廷の意のままにならず、謡曲「土蜘蛛」の蜘蛛族の故郷である。一言主神社に蜘蛛塚があるのはその怨念を封じているのだろう。

さて、当時の奈良盆地は奈良湖といわれ、湿地帯で人間の居住に適さず一面が芦原野であったらしい。実際に葛城古道を歩いて高天に行く途中の極楽寺の庭から奈良盆地を眺めると大和三山が浮ぶかつての奈良湖が連想される。当時の湖周道路が現在の山の辺の道であり、葛城古道であろう。奈良県側から金剛山への登山道(郵便道)の途中に高天彦神社がある。その周辺一帯は金剛山の中腹でありながら田あり畑あり神社仏閣をはじめ集落がれっきとして存在している。古事記の冒頭に「天地の初めて開けしとき、高天の原に成りませる神の御名は天之御中主神・・・」とあるが邪馬台国論争、卑弥呼=天照大神説、高天の原の謎、神話と弥生文化・・・と限りないロマンが彷彿として蘇るのである。

〈癒しの散歩道〉

自然って何だろう

谷川萬太郎

自然をもっと知ろうみんなで 触れて学んで過去の歴史をひもとくために  
自然に語りかけようみんなで 見つめあい互いにもっと解りあえるために  
自然と友達になろうみんなで きっと一緒にやさしい気持ちになれるから  
自然と肩並べ歌おうみんなで 想いを胸に抱き羽ばたく楽しさ育むために  
自然と輪になろうよみんなで 風の波に乗って時を忘れた旅をしたいから  
自然と涙を流そうよみんなで 哀しみや苦しみがいつか虹色に変わるから  
風と仲良くなろうよみんなで 清く澄んだその素直な眼差しが好きだから  
青空に願いかけてようみんなで 自然の心の叫びを小さな耳で聞きたいから  
木立に陽を照らそうよみんなで 木洩れびに寂しさが消えて明るさが広がるから  
花に恵みの水与えようみんなで 上品な眩い衣装が緑に冴えその艶姿見たいから  
土を掘っては耕そうよみんなで 眠りから覚めた生き物に会える喜びがあるから  
隠れ里に住む鳥たちにみんなで 見知らぬ土地の便り届けたくて辿りついた山辺  
自然の奥深いふところには人の心の原点がある

明日に生きる笑顔にきっと会えると信じて



霧氷の金剛山から 葛城山を望む

## にほんの里—なつかしい風景や誇るべき暮らしの文化—

鈴木 末一

「連携セミナー・にほんの里から世界の里へ」（主催：金沢大学、総合地球環境学研究所、国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット、財団法人森林文化協会）が、2月6日、石川県立音楽堂邦楽ホールにおいて開催された。

私は、自然と人と大学の共存を目指した金沢大学角間キャンパスの「里山ゾーン」を活用した里山学習プログラム研究開発の取り組みを学ぶために、昨年6月から角間の里メルマガ会員になった。第7回連携セミナーの開催を知り、粉雪舞う金沢の地を訪ねた。

第1部は、「生物多様性と人の営み」—日本の里100選・新たな挑戦—のテーマで、全国各地から4474件の応募があり、対象地約2300地点の中から、「景観」、「生物多様性」、「人の営み」を基準に現地調査が実施され、山田洋次・映画監督を委員長とする選定委員会で選ばれた100か所、『にほんの里100選』の中から、8地区の事例報告があった。いずれの地も人がかかわることで豊かになる「里山」が印象づけられたが、その中で特筆したい3地区の要旨は、次の通りである。

① 岩手県萩荘・巖美の農村部（一関市）：溶岩台地の急斜面に作られた棚田とその上部にある500以上のため池が独特の景観を作り出し、農薬や肥料が流入しないため、多数の絶滅危惧種を含む貴重な淡水生態系ネットワークが残されている。また、貧栄養の大地は、多様な植物の共存を許し、豊かな植生が保全されている。「久保川イーハトーブ自然再生協議会」を立ち上げて、地区住民、大学などと連携して侵略的外来生物の排除を実施し、種々の観察会、トレッキングなどを通して地域の活性化にも努めている。

② 長野県上村下栗（飯田市）：南アルプスを望む長野県飯田市上村にあり、斜度30度余の山腹を切り開いた地である。縄文土器が出土し、古くから自然の恵みを求めて人々が暮らしてきた所である。周辺から隔絶されてきた里では、古い時代のDNAを残した芋類、雑穀類（稗、蕎麦、粟、黍など）、豆類、椎茸などの作物が多く収穫されている。この一帯には、鎌倉時代に起源を持つ「霜月祭り」があり、国の重要無形民族文化財に指定され、旧暦の霜月に神事が行われている。日本のチロルとも称され、昭和40年代の写真を基に集落の美しい様子を復元する景観修復プロジェクトが始められている。

③ 山口県祝島（上関町）：約300世帯530人が住む瀬戸内海の離島。海辺の石を土で固めて漆喰を塗った「練塀（ねりへい）」の景観がユニークな里である。山の斜面ではミカン栽培が盛んであったが、現在では無農薬のビワ栽培へ移りつつある。耕作が放棄された棚田では、「放牧養豚」という全国初の試みを実践している。エサは野菜屑など島内で自給し、肉の生産・流通も始まった。08年3月には「祝島自治会生態系保全規則」を作り、一次産業の基盤となる豊かな海や山の生態系は、自分たちで守ることをみんなで確認し、『一流の離島』を目指している。

里山再生のキーワードは『つなぐ』。「命をつなぐ（生物多様性）、人をつなぐ、都市と農山村をつなぐ」、つまり、『つながり』の中に自分がいることを、一人ひとり知っていくことが大切であると思う。

（第2部 豊かさを問う—里山SATOYAMAの未来可能性—は、次号に報告の予定）

## 里山講習会

テーマ	「里山を健康に保つにはどうすれば良いのか」
日時	2月2日(火) 13:00~16:00
場所	奈良市中部公民館視聴覚教室
講師	(独) 森林総合研究所関西支所 黒田慶子氏
参加者	38名 (会員30名+会員外8名)



里山保全の願いはあるものの、どんな里山にすればいいのか、どのように取り組んでいけばいいのか、わからないことのたくさんある私達に、黒田氏は次の通り熱く語って下さいました。

**健康な森林とは?** 樹木が持続的に成長し森林として維持されること

**里山の現状** 明治時代に北アメリカから侵入した線虫病によるマツ枯れは100年で日本列島を縦断し多くの被害が発生している。またカシノナガキクイムシとその共生する病原菌によるナラ枯れの被害は1980年以降急激に増え、京都、滋賀ではすでに手遅れの状態で、奈良にも危険がせまっている。被害増加の理由は、かつて15~30年ごとに伐採され炭や薪として使用されていた里山の樹木が最近では利用されずに放置され、太くなったナラ類樹木(ミズナラ、コナラ、シイ、アラカシなど)が虫の繁殖に適しているから。

**里山の林を守るには?**

- ①虫の被害に迅速に対応する。虫が繁殖すると木の幹に爪楊枝の先が入る程度の穴があき木くずが出てくるので、すぐに県に報告し薬剤散布か、チップ化などの処理を行うこと。
- ②里山林を伐採しないままに放置しないこと。小面積で伐採し使うことにより健康な姿に戻す。そうすれば小面積で林齢の異なるモザイク環境となり、森林性種から草原性種まで生物多様性豊かな里山になる。
- ③高齢樹を残し下層植生を除去する公園型管理をしないこと。今はきれいな景観となるが、やがて生命力の強い植物が優先的に生育し、高齢樹がナラ枯れを起こす。

**里山資源の積極的利用** 現代版里山管理の実証実験を大津市と長岡京市で実施中。薪ストーブ、ペレットストーブ、薪ボイラーを導入し、エネルギー消費の変化、生活の質の変化、環境に配慮した生活に対する意識の変化、地域コミュニティの活性化を目指している。日本は豊富な森林資源を無駄にし、海外から石油を買っている。森林資源の活用により石油消費を減少させよう。

**里山保全の進め方** ・収穫がある楽しい活動・活動が環境保全に役立っている実感を・専門知識を高めて科学に貢献・子供も巻き込んで次世代につなげる・自治体との連携

**その他** ・里山林は林野庁の森林区分では人工林ではなく天然林に区分されているため、伐採批判の誤解を生んでいる。・森林のCO<sub>2</sub>吸収機能を過大評価してはいけない。特に広葉樹の効果は不明。・ソヨゴの優占は更新阻害の恐れ・猛毒カエンタケなど珍しいキノコの増殖は森林が不健康になったため

講演の後参加者から、被害の発生状況、虫について、被害木の処理の仕方、里山資源の利用について等多数の質問が寄せられ有意義な講習会でした。今回学んだことをこれからの活動に生かし、また今後も勉強しながら活動を続けていきたいと思った次第です。黒田氏にはこれからも支援をお願いして講習会を終えました。

(守口記)

## ならやまプロジェクト・レポート 22年2月

- 1月23日 (土) 晴 笹チップー導入 蕎麦の初打ち 菜の花畑の除草 参加者54人
- ・刈取りが進んだ笹藪Ⅱで、チップーによる処理が始まり、教育実習生を含む約10人が取組みました。刈り取った笹の半分以上が処理され、堆肥などに利用されます。



チップー投入

- ・昨年初めて収穫した蕎麦5kgから3.3kgの新そば粉が採れました。今日は有志5人の手配で、シニア会員の田辺さんに指導を(実演も)お願いして蕎麦の初打ちが実現しました。お味の程は? ご試食頂いた皆さんからは極めていい反応、蕎麦通の川井さんからも「なかなかイケる」との判定に、有志の面々は勇気百倍、ならやまで「蕎麦クラブ」を立ち上げるのだ、と盛り上がっていました。



蕎麦を待つ

- 2月4日 (木) 晴 ホダ木玉切り タマネギ追肥、チップ播きと畝整備 参加者28名
- ・12月に間伐したコナラ材を、椎茸ホダ木用に1mの長さに玉切りする。椎茸リーダーの森さんの指示のもと、ほぼ男子全員がかり約180本のホダ木が完成。3月6日の公開イベント「椎茸を植えよう」に向けて準備は着々進行中です。
  - ・農園Grは、玉ねぎの追肥、休耕地へのチップ播きと畝作り。これで春を迎える畑の準備はOKです。参加者全員がフル稼働で作業完了、充実感ある一日でした。
- 2月8日 (月) 野鳥調査 参加者は4名でした。

(古川祐司 記)

## ならやま里山林自然観察レポート

### \*ならやま里山林花だより\*

守口 京子

2月16日(火) まだまだ寒さが続きますが、日差しが明るくなり、春はもうすぐです。ツツジの花芽がたくさんついて今年の里山は楽しみです。

花…ウメ(五分)、ハコベ、オオイヌノフグリ、スイセン、タネツケバナ、ヒメオドリコソウ、アセビ、ハンノキ

蕾…クロモジ、ヒサカキ、ジンチョウゲ

ほとんど茶褐色とダークグリーンの地味な色調の景色のならやまですが、フキノトウの黄緑は鮮やかです。活動日に西谷さんが作って下さるお味噌汁に、いつもとちょっと違うほのかに良い香りの苦い葉っぱがあったら、それはフキノトウです。



### 進路ガイダンス(報告)

日時：1月24日 時間：9:00～12:00 場所：鶴見緑地陳列館ホール

担当：吉村さつき、橋本由美子、小嶺敏勝、大石門三、岩田利秋

配布資料：会報新年号、入会案内、進路ガイダンス(これのみ講座生全員)

概況

一点の雲も無き快晴、県庁より調達した遷都1300年の幟を引っさげ、活動パネル3点、手作り幟、配布資料を5人で10時の開始にそなえ手際よく準備(講座生の井戸さんも応援)。ホール内24ブース、ロビー17ブースと競っての出展。我ブース、75部持参の会報も殆んど出尽くし、まずまずの盛況か。当会はホール内で特に遷都1300年の幟は出席講座生に見える最高の場所であった。入会希望もそこそこあったが、本部アシスタントを通じて楽しみ。展示作業で低い天井のある会場ではポールは固定でき(伸ばして)威力発揮。パネル展示には苦勞した(ガムテープ使用不可)。ならやまの活動で「鳥の日、山の日」の活動内容についての質問が多く、表現に一工夫必要か。講座生は平城山での教育実習で慣れ親しんでいるが、例会、オプション企画などにも、もっと目を向けてくれるといいが、配布した会報の熟読を全員で特に訴えた。

# のんびり・たのしい ウォッチングでした

2月例会 「大和川の野鳥観察会」報告

2月17日(水) 晴れ 平端駅9時30分集合

担当：小田・勝田

参加者：川井・野田・倉田・平岡・池田・林・小森・豊島・岩田・弓場厚・古川祐・寺田孝・板橋・山中・横井・井戸・勝田緑・小田久・勝田<会員外>鬼塚・壁谷 (計21名)

鳥：カイツブリ・カワウ・アオサギ・カルガモ・マガモ・コガモ・トビ・オオバン・ケリ  
キジバト・ヒバリ・ハクセキレイ・ヒヨドリ・モズ・シロハラ・ツグミ・ウグイス

エナガ・シジューカラ・メジロ・ホオジロ・アオジ・カワラヒワ・スズメ・ムクドリ

ハシブトガラス・ハシボソガラス・オカヨシガモ・ヒドリガモ (計29種類)

## ②筒井順慶の墓

### ① 平端駅前

朝の挨拶の後

9時30分に

出発!!



覆堂に覆われています

小田さんに説明を

していただきました

平端駅よりすぐですよ



コガモ・マガモ

ヒドリガモ・カルガモ

カイツブリ・オオバン

オカヨシガモ

思ったより寒くなかった!

### ③佐保川の堤防 でカモ等の観察



### ④田んぼ道を行きました

途中ラブラブの

ハシブトガラスが

いました。



### ⑤ファミリー公園内の観察

シロハラは一人にしか

顔を見せてくれません

でした。カワラヒワは

オス、メスもじっくり

見ましたよ!!



### ⑥食事の前の全員集合



### ⑦最後の鳥合わせです

29種類でした

ツグミが多かったです



・スコープの威力も

実感して大満足でした。

皆さんお疲れ様でした。

(勝田 緑 記)



## 【自然俳句欄】



なから

存ひの冬越しの蕎麦舌つつみ 秀夫

里山林。昨年収穫の蕎麦打ち。プロ顔負けの出来。一碗に美味、美味の声しきり。

におかつ

人の世の浮き沈みかな鳩潜く 秀夫

2月例会。大和川周辺の野鳥観察会。帰る禽、残る禽、季節は鳥たちの営みの早春賦だ。

### 【特報】

本会に昨年4月。サークル第一号が誕生。名付けて『のらの会』。里山の野良仕事のメンバーが中心となり、首輪の無い野良犬に因み命名。酒とグルメを愛するリベラルな集ひが、某日。御蓋山を望むお屋敷？で開催。幹事の肝入りで即興俳句のパフォーマンスで盛り上がる。各位の名句をご披露させていただく。

順不同

春雨に庭の息吹やみかさ荘	塩本 勝也
赤富士の絵に健やかや春の膳	竹本 雅昭
こがらしに耐えて竹剪る兵や	中畑 進
大寒や音無き雨に友集ふ	寺田 孝
寒の日に集ひて和む美し酒	阿部 和生
御蓋山盃かかけ四温かな	川井 秀夫
初春の三笠の里にのらの会	弓場 厚次 【銀賞】
冬枯れの趣や良し御蓋山	菊川 年明 【金賞】
大寒を忘れてゐたる寧楽の宿	水本 遼真 【銀賞】
大寒に集ふ漢の夢語る	勝田 均
雨かすむ角なき鹿の佇めり	森 英雄

(短歌詠)

初春に盃かわす御蓋山懐古に酔ふて華やぐ宴 谷川万太郎

◆ お断り ご本人の了解を得て、原句に少し朱筆を入れました。

次回は4月。ご賛同の方は男女を問わず、ご参加歓迎致します。 川井 記

### スイセン

**福** 井県の県花。ギリシア神話に現れる美少年ナルキッソス (Narkissos) は、水に映る自分の姿に恋をし、思いつかなぬままやつれ死に、その泉の岸边に咲いた花がスイセンであると言われている。学名は、この美少年の名に因む。また、Narkissos は narke (麻痺、昏睡、などの意) の語からできた名で、スイセンの有毒な鱗茎に因む。別名 雪中花 (せっちゅうか) 花言葉 うぬぼれ、エゴイズム 誕生花 1月3日

ユリ目

ヒガンバナ科

スイセン属

学名 *Narcissus tazetta*  
var. *chinensis*

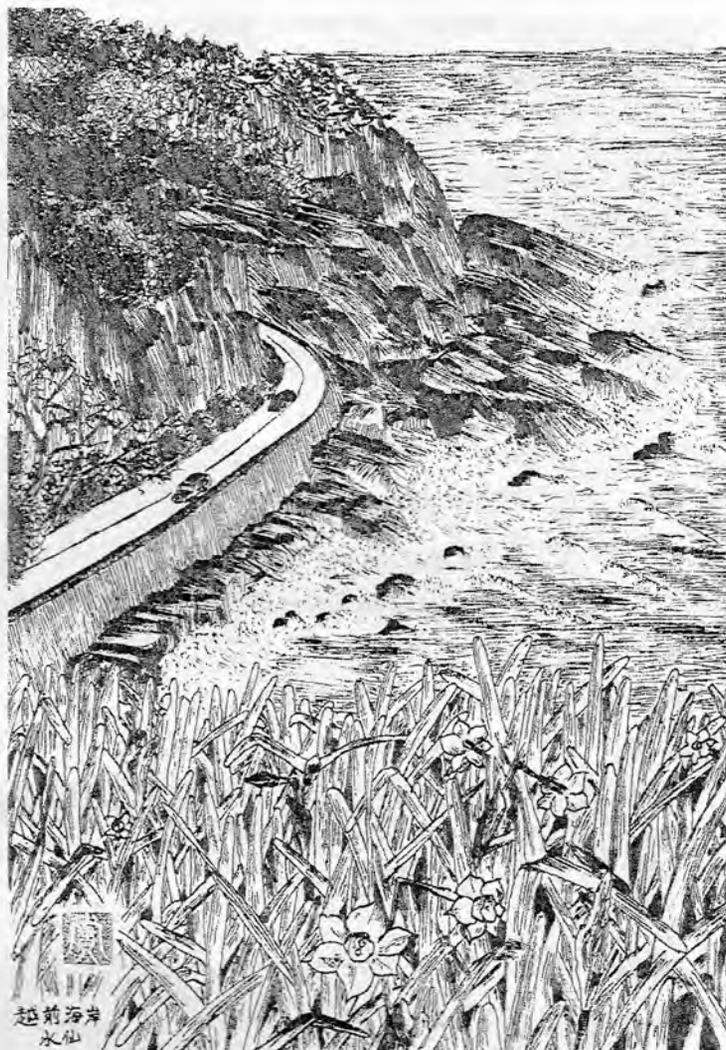
雪中花の名にふさわしい句を、  
松尾芭蕉は吟じている。

初雪や 水仙の葉の

たはむまで

また、加賀千代女は次の句を吟じている。

水仙の 香やこぼれても 雪の上



越前海岸  
水仙

奈良・人と自然の会も発足9年になりました。

幹事会において21年度を振り返り、10周年を目前にする今年は毎月の例会に加え、発足10周年記念企画として東海自然歩道・自然観察会を年間4回開催することに決めました。

引き続き、みなさまの会員の継続を期待しております。

つきましては、ボランティア保険継続加入の必要もあり、3月中に会費の振り込みをお願い申し上げます。〈詳細は同封チラシをご覧ください〉

なお、会費は 年会費 3,000円・家族会費 1,000円です。(保険料を含む)

ツグミ

小田 久美子

ツグミは美味ということもあって食料を目的に捕まえられました。江戸時代、加賀藩の武士が細い絹糸を使って作ったのがカスミ網の原型だとされます。武士だけに許されたこの猟も明治維新後、失業した武士が客を呼び商売を始めました。こうしてカスミ網猟は秋ツグミが大量通過する、石川・富山・岐阜・愛知・長野と中部六県に広まって行きました。昭和33年、福井県で捕まった数44万羽以上という記録があります。近年やっと鳥獣保護法により、許可を持たない者の使用や販売は禁止されましたが密猟は後を絶ちません。中部地方の登山に行かれてカスミ網と思しきものを見かけられましたら、是非自治体などへの通報をお願いしたいです。明るい原っぱで餌をついばんだり、ぼんやり(?)突っ立っているツグミの姿からはそんな受難があるとは思えないのんびりした空気を感じ、好きな鳥の一種でもあります。以前金沢で鳥見をしている時、北へ旅立つ前に発声練習するツグミに出会って、とても綺麗な歌い手なのだと知りました。



ちいさじょうほう

★2月20日奈良市松陽台2丁目の緑地帯の高木に、オオタカが1羽とまっていました。1月2日にも、南東に飛んで行くのを目撃しました。(古川祐)

★ウグイスが2月15日隣の庭で鳴く練習をしていてそれが「ホイチョー ホイチョー」と聴こえる。大分頑張ってるのだが「ホー」までもいかずこっちは初音が聴けると期待してたのに遂にあきらめて飛び去った。がっかり。。

2月20日午後1時頃庭でアオジの♀が餌用の稲穂をつまんでいた。なかなか用心深く姿を見せないのに稲穂のご馳走でキョロキョロと見回すが動こうとせず部屋で私が双眼鏡を取りに行くのを気にもせず稲穂に夢中。そのうちいなくなったと思ったらみを連れてきた。夫かな？20分位2羽でせつせと食べていた。(檀原)というわけで私は炬燵に入りながら稲穂を食べる様子を一部始終見ていてとてもたのしかったです。本を片手に♀をしつかり観察できて勉強になりました。(斎藤)

★2/2 大和川河川敷ヨシ原 コホオアカ(ホオジロ科)

2/7 平城旧跡 トラフズク(フクロウ科) (小田)

★(斑鳩) 2/9 イカル40羽位が地面に下りてモミジの種を拾っていました。2/19 ウグイス初鳴き。

13日金剛山雪はほとんどなかったのですが霧氷が満開のサクラのように見えました。(勝田)



オニグルミ 三室山

# 行 事 案 内

\*原則：前日午後7時前のNHK天気予報で降水確率（午前）60%以上の場合は中止\*

## 『ならやま里山林プロジェクト3・4月の予定』

このプロジェクトは三井物産環境基金の助成を受けています

場所 奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林（JR平城山駅下車徒歩10分）  
 —「ならやま会館」前の道路（ならやま大通り）の南側に広がる林地—  
 （案内地図が入用の方は、担当幹事までご連絡下さい）

日時

3月 4日（木）	活動日	（椎茸の菌打ち）
3月 6日（土）	公開イベント	「やってみよう椎茸作づくり」
3月 8日（月）	野鳥調査	（小雨実施）
3月11日（木）	活動日	
3月20日（土）	活動日	（新入会員歓迎会 ジャガイモ植付け）
3月25日（木）	活動日	
3月31日（水）	雨天の予備日	
4月 8日（木）	活動日	
4月10日（土）	菜の花祭り	
4月12日（月）	野鳥調査	（小雨実施）
4月22日（木）	活動日	
4月29日（木）	活動日	
4月30日（金）	雨天の予備日	



集合 現地ベースキャンプ地 9時 終了予定 3時  
 交通 ①近鉄奈良駅 バス13乗場8:23発 高の原行（平日・土曜）  
 ②近鉄高の原駅 バス1番乗場8:32発 JR奈良行（平日）  
 8:30発 JR奈良行（土曜）

① ②とも佐保台西口、または平城大橋で下車 徒歩約7分

携行品など

・弁当、飲み物、軍手（作業用具は現地にて用意）服装は防寒にご留意下さい。

\*環境保護のため、コップ・箸・椀は各自でご用意下さい。

活動内容

・里山林整備、環境整備、植生調査、放置田跡の笹刈、花木植栽等の景観形成、椎茸作り、復元田畑の農作業、有機栽培の堆肥作り、土作り

\*自由活動日について

・火曜日、金曜日を「ならやま自由活動日」とします。活動される方は担当幹事までご連絡下さい。

\*担当幹事：

古川

小嶺

岩田

### 3月例会「津越の福寿草」を訪ねよう

奈良・西吉野の山麓にたたく津越の集落へ、春を呼ぶ「福寿草」に会いに出かけませんか。この地のように群生しているのは珍しいそうです。1975年には奈良県の天然記念物にも指定されています。

日時：2月28日（日）（雨天予備日3月3日）

行き：大和西大寺 8：55—橿原神宮駅乗換 9：30—吉野口乗換 10：10—五条駅新宮  
行きバス乗車 10：32・・・城戸 11：00

天王寺 8：59—王寺乗換 9：26—五条バス乗車 10：32

集合場所・時間：五条市西吉野町城戸バス停 11時

担当：豊島 西谷



### \* ならやま野鳥調査 ～野鳥の会奈良支部・川瀬支部長のご指導による～

☆日程：3月8日（月）

★出発時間・場所：9時・ならやま駐車場

☆小雨決行。判断の難しい時は担当者に問い合わせください。中止の時は次週に順延。

★担当者：小田 菊川

### 3月行事 **第2回パソコン教室開催のおしらせ**

第2回パソコン教室は12月に開催予定をしていましたが都合により延期しました。

このたび奈良県立奈良朱雀高校のご好意によりつぎのとおり再開催いたします。

日頃のパソコン操作の悩み等を持ち寄って、気楽にご参加ください。

前回参加された方の継続受講も歓迎します。

【日 時】平成22年3月8日(月) 13：00～16：00（集合：校門12：40）

【場 所】奈良県立奈良朱雀高校（旧・奈良商業高校）、奈良市柏木町248

アクセス：近鉄橿原線・西ノ京駅下車、東へ徒歩10分

マイカー：R24 柏木町交差点西へ1つ目の信号左側（校門入って左側に駐車のこと）

※参加希望の方は3月3日(水)までに担当幹事まで連絡ください。

なお、ご教示いただく内容、希望も併せて連絡ください。

担当幹事：岩田利秋

## 新入会員歓迎懇親会のあんない

新入会されたみなさまの歓迎懇親会をつぎのとおり開催します。

昨年6月以降の新会員のみなさまとともに今後のご活躍を祈念しまして、早春の“ならやま”でささやかな野外パーティーを準備しました。

なお、当日は、9時よりならやま活動日でもありますので新入会員のみなさまのご参加を歓迎します。

と き：平成22年3月20日(土) 12:00 開会(少雨決行)

と ころ：ならやまベースキャンプ

交 通：・JR平城山駅(東口)、徒歩10分、信号右へ平城山会館向い、案内表示有。

・①近鉄奈良駅 バス13乗場8:23発 高の原行 (平日・土曜)

・②近鉄高の原駅 バス1番乗場8:30発 JR奈良行 (土曜)

①②とも佐保台西口、または平城大橋で下車、徒歩約7分、平城山会館向い、案内表示有。

会 費：500円(新会員は招待)

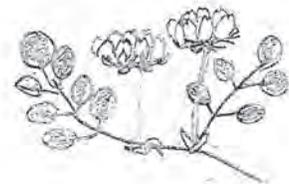
※当日はバーベキュー、ならやま産の赤米餅(古代米)、名物豚汁等を準備します。

バーベキュー食材、飲料の寄贈歓迎します。握り飯は各自持参してください。

※飲物も準備しますのでマイカーは自粛してください。

世話人代表：岩田利秋

## <4月の予定>



### 4月例会「当尾の里」を訪ねて

大仏さんを過ぎ、奈良坂を越えて静かな山里にある浄瑠璃寺や岩船寺石仏を訪ねませんか

日 時：4月5日(月) 9:50

集合場所：近鉄奈良駅行基菩薩前

担 当：板橋、大石

\*詳細は会報第99号(4月号)でお知らせします

### 10周年記念企画オープン行事「柳生から桜の笠置寺—笠置古道」

奈良県下の東海自然歩道を3年間に亘り訪れます。そのスタートは剣豪の里柳生から！！

日 時：4月19日(月) 9:20

集合場所：近鉄奈良駅行基菩薩前

担当：弓場、大石

\*詳細は会報第99号(4月号)でお知らせします

## 平成 22 年 2 月度幹事会議事録

日 時：平成 22 年 2 月 9 日（火） 会場：奈良市中部公民館 司会：古川 記録：菊川  
議 事（議事は今回から報告事項と討議事項に区分）

### 【報告事項】

- ①会員数 121名
- ②ならやまプロジェクト活動 定例2回、臨時1回、鳥の日1回（1/28・1/31は雨天中止）  
参加者数123名（うち、ビジター19名） 前年同月 78名
- ③ならやま世話人会議 2月3日（金）午前 会場：佐保台地域ふれあい会館  
活動日の区分を「活動日」と「野鳥調査日」の2区分に単純化
- ④新春講演会 1月16日（土）10:00～12:00 会場：奈良市中部公民館  
テーマ：「森林をどう扱いどんな森林を作るか」 講師：京大名誉教授 農博 渡辺弘之氏  
参加者数：55名 午後の奈良公園・春日山原始林観察会は参加者43名
- ⑤里山講習会 2月2日（火）13:00～16:00 会場：奈良市中部公民館  
テーマ：「ナラ枯れ問題と里山林の管理」  
講師：独立行政法人 森林総合研究所 関西支所 地域研究監 農学博士 黒田慶子氏  
参加者数：38名（うち外部参加者8名） アンケートの結果：良しとするもの78%

### 【討議事項】

- ①蕎麦打ち会 3/4（木）
- ②パソコン教室 日時：3/8（月）13:00～16:00 会場：奈良県立奈良朱雀高校
- ③新入会員歓迎会 3月20日（土）12:00～ 会場：ならやま 小雨決行
- ④菜の花祭り 4月10日（土）10:00～
- ⑤例会関係
  - \* 2月28日例会（福寿草）は気象条件（積雪等）に応じてストック・アイゼンを携行のこと
  - \* 4月例会日程 4/5（月）当尾の里 4/19（月）オプション 笠置古道
  - \* 5月例会日程 京都府立植物園 5/11（火）予備日5/12（水）
- ⑥第9回通常総会 日時：5月15日（土）10:00開会 会場：奈良市中部公民館  
午後の部 平城遷都1300年祭 大極殿周辺散策
- ⑦会員名簿の作成 4月時点で作成し、総会で配布。

編集後記：\*有本氏には、平成20年8月号から今月号までの間、7回にわたり、「奈良の万葉歌碑めぐり」をはじめ自然観などの投稿を頂きました。本当に有難うございました。\*会報4月号の発送作業日は3月26日(金)です。「奈良県西奈良ボランティアセンター」で午前9時からです。引き続きご協力お願いいたします。

編集担当：勝田 均

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】  
奈良・人と自然の会事務所

会長 阿部 和生